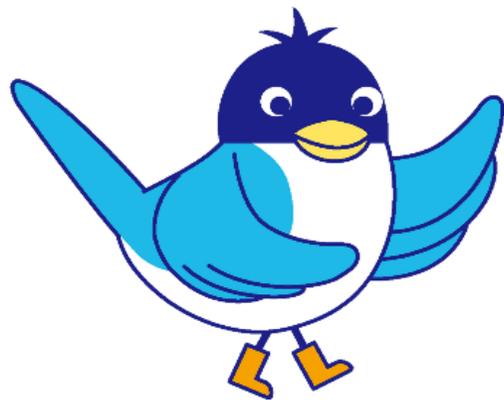


# 池尻あんしんすこやかセンターの 取組み



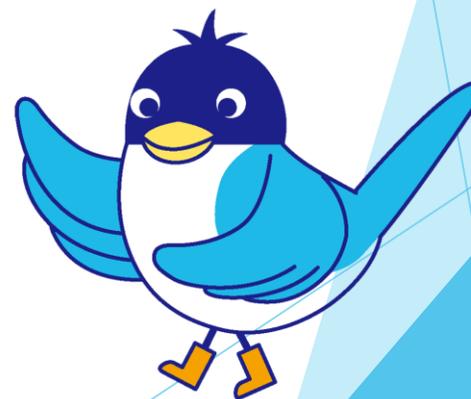
令和5年9月7日

池尻あんしんすこやかセンター 管理者 河野由香



### 池尻地区の特色

- ・ 国道246号線が交通量が多い。
- ・ 高齢者人口17.1%  
(全区20.4%)
- ・ 比較的若い世帯が多い。
- ・ 小学校では転入出者が多い。



# 池尻あんしんすこやかセンター (地域包括支援センター)

- ▶ 平成18年4月より、委託を受け開設。
- ▶ 現在、身近な福祉の相談窓口として、まちづくりセンター内に設置。
- ▶ 社会福祉士・保健師等・主任ケアマネジャーの資格を有する者が配置。
- ▶ 月～土曜日 8:30～17:00 窓口開設。  
日・祝日・年末年始・時間外は、電話転送にて対応。

# 主な相談経路

- ▶ 本人
- ▶ 親族・後見人
- ▶ ケアマネジャー・介護サービス事業者
- ▶ 医療機関
- ▶ 民生委員・近隣住民
- ▶ 警察・消防
- ▶ 金融機関
- ▶ 不動産業者・住宅供給公社
- ▶ 電気・ガス・水道業者
- ▶ バス・鉄道会社
- ▶ 学校
- ▶ 商店（コンビニ・スーパー・理美容院・飲食店・衣料品店） など **4**

# 事例 1

## 40代 社会から孤立していたケース

- ▶ **背景**：大学卒業後、就職したがすぐに退職。約20年程、未就労のまま、家で過ごしていた。
- ▶ **きっかけ**：あんしんすこやかセンター職員が母親の実態把握訪問の際、息子に関する話があった。
- ▶ **経過**：母親、区保健師、医師、障害者相談支援センター等と、何度も相談。訪問を重ねるうちに、本人と会うことができ、世間話をするようになった。以降、約10年、相談を継続。
- ▶ **現在**：自ら「働きたい」と意向があり、ぷらっとホームへ繋がり、就職。今では、仕事の報告や定年後の生活について相談に来所、高齢の母親を心配する発言も聞かれるようになった。

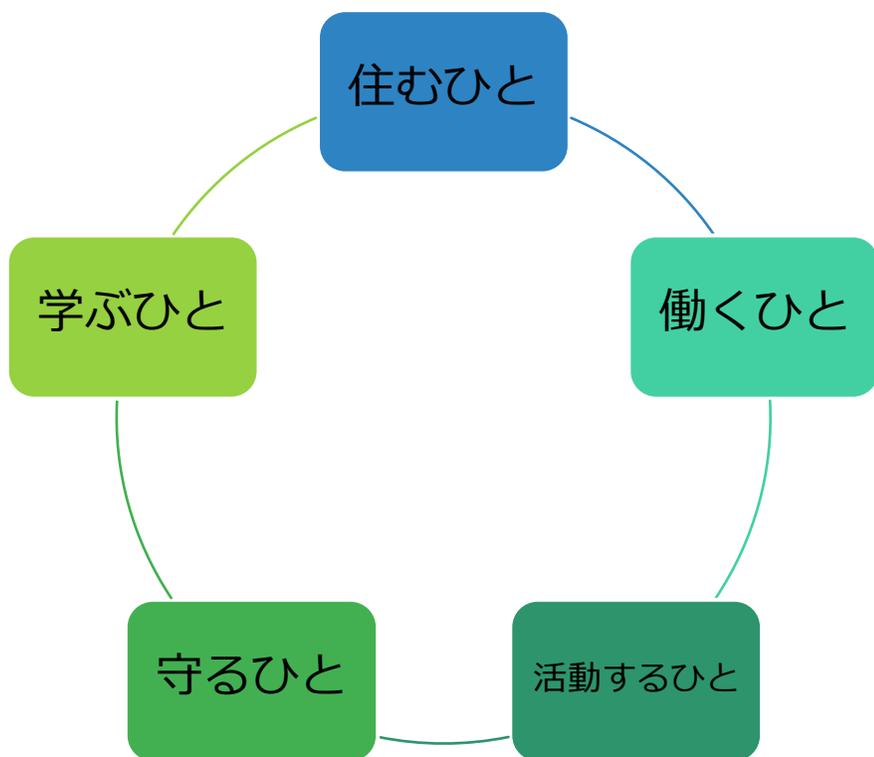
# 事例 2

## 70代 活躍の場を探しているケース

- ▶ **相談前**：60代半ばまで就労。親の介護を終え、自由な時間ができていた。
- ▶ **きっかけ**：あんしんすこやかセンターの案内をポスティングをしたところ、来所。
- ▶ **経過**：その頃、他県で震災があり話題に。マンション暮らしで、地域とは繋がりは無く、知人もいないため、何か活動できることはないかと相談。  
町会や社協、生涯大学、ボランティアセンター等を紹介。
- ▶ **現在**：世田谷区シニアボランティア研修を受講し、地域のイベントや講座の運営協力などで、地域の担い手として活躍中。

# 事例 3 三宿池尻まちこま会

～まちの困りごとを考える会～



## ▶ 【今までの参加者】

住民（民生委員・町会・社協など）、学校、PTA、専門学校、保育園、幼稚園、ボランティア、NPO、福祉施設、介護サービス事業者、金融機関、宅配業者、商店会、警察、消防、行政 など

様々な方から、地域の情報発信、困りごとを共有し、それぞれの立場でできることから始めてみようと活動しています。

# 事例 4

# にんにんにん会



認知症や障害、属性・  
世代を問わず、人と人  
が繋がる機会を



みんなの出番です!!  
を作っ  
子どもたちへ贈ろう!!  
木材を切る やすりをかける オイルを塗る  
入れものを考える・作る 届ける!!



# あんすこの活動を通して感じていること

- ▶ 相談内容や経路の多様化
- ▶ 様々な方と協力していくことの大切さ
- ▶ どんな方でも、広く活躍できる機会  
→支える側・支えられる側という概念を超える地域づくり

～時代の変化に合わせた内容、方法の変化を～



これからも、  
よろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。

